

花と緑の銀行だより

194号 2015.1



撮影場所：舟川べり（朝日町）

目次

- ・花と緑の提言〈「新年のごあいさつ」（朝日支店）〉……………2
- ・活動事例〈「みんなの夢を咲かせよう「ゆめかだん」」（入善支店）〉……3
- ・技術講座〈気軽に楽しむ花づくり4〉……………4
- ・緑づくりコーナー〈庭木に利用する樹種の特徴と管理 — サザンカー —〉……5
- ・技術講座〈ステップアップ研修に参加して〉……………6
- ・この人あり〈「地域花壇との交流活動」（射水支店）〉……………7
- ・情報コーナー〈平成26年度「花とみどり・ふれあいフェア」〉……………7



新年のごあいさつ

花と緑の銀行 朝日支店長

朝日町長 笹原靖直

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに平成27年の元日を迎えられたことと存じます。

日頃より、花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、当町は富山県の東端に位置し、北アルプス連峰の豊富な雪解け水が山や川、里を潤し、日本海へと流れる海拔0メートルから3,000mの豊かな自然の恵みを存分に味わえる地域資源の豊富な地勢を有しております。

朝日町の花の名所としては「舟川べりの桜並木」、「あさひ城山公園の桜」及び「ハーバルバレーおがわ」があります。「舟川べりの桜並木」は残雪の北アルプス連峰を背景に舟川べりの桜並木が咲き誇り、周辺のチューリップ畑や菜の花畑と開花の時期が重なれば、自然がつくりだす見事な四重奏を楽しむことができます。



写真1 舟川べりの桜並木

「あさひ城山公園の桜」は桜と若葉のコントラストが美しく、山頂からの富山湾の眺望は絶景で春風を楽しみながら花見をする家族連れが多数訪れます。また、桜のあとは町の花でもあるツツジが彩りを添えています。



写真2 あさひ城山公園の桜

そして、「ハーバルバレーおがわ」は県営小川ダムの下流1キロメートルのところにあるハーブ園で、2.4haの園内にはラベンダーやペパーミント等の44品種5万株のハーブが花と色と利用目的別に植えられており、北アルプスに抱かれた自然のなか、芳香に囲まれながらゆっくりハーブを楽しめます。



写真3 ハーバルバレーおがわ

舟川べり、あさひ城山公園及びハーバルバレーおがわはいずれも「とやま花の名所」に選出されており、町民のみならず皆様方が広く花と憩い、親しみをいただいているところであります。

朝日町では町民の生活環境の質を高め、心身ともに健康で豊かに過ごしていただくための緑化推進政策は必要不可欠であると考えております。誰もが花と緑に囲まれ、潤いと安らぎに満ちた花と緑の地域づくりを行うため、春に緑化木や花苗、秋にはチューリップの球根等を地区花壇、小中学校及び公共施設に配布しております。また、地域の緑化推進のリーダーとなってご活躍されている地方銀行頭取・グリーンキーパー52名の方々のご協力を得て、町民の皆様とともに花壇やプランターへの植栽や維持管理をしていただいているところであり、関係の皆様方に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

今後とも町民の皆様には地域の緑化活動に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行のますますのご発展と皆様方のご健康とご活躍を心より祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。



みんなの夢を咲かせよう「ゆめかだん」

花と緑の銀行 入善支店

入善町立飯野小学校 校長 高澤 優

1873年(明治6年)に創立された飯野小学校、今年で141歳になりました。昨年140周年記念事業の1つとして、花壇を改修しようと同窓会役員の方から提案され、実現しました。直径10mの広さで、飯野小学校の校章がデザインされました。

大きな花壇が5月末に完成しました。子供たちもどんな花壇になっていくのか、とても楽しみにしていました。そこで、飼育栽培委員会が中心になって、花壇の名前を全校児童に募集しました。学校の名前やアニメキャラクターの名前を入れて考えるなど、様々な名前が応募されました。その中から、「ゆめかだん」という名前に決まりました。

6月上旬、飼育栽培委員会で入善町から配布された花の苗植えをしました。校章の桜の花、黒部川の流れ、「小」の文字を花の種類や色で表現するために、どのように花を植えればよいか、思案のしどころでした。花の色や背丈だけでなく、特徴も考えながら植え込みの場所を決め、飼育栽培委員で植えました。広い花壇なので、約800株の苗を植え込みました。



7月1日、創校記念式と花壇の竣工式が行われました。同窓会から、花壇の改修にご尽力くださった中田さんに感謝状が贈られました。

その後、飼育栽培委員会から花壇に植えてある花の名前の紹介と花壇の名前発表がありました。



花の世話をするのが大好きな子供たち8人が中心になって、花の管理をしてくれました。もちろん、教職員の協力もありました。暑い夏の水やり、咲き終わった花がら摘み、追肥やり、苗の植え替え作業など……



今思えば、たくさんの人たちに支えられ、見守られていた花壇だったと思います。みんなの夢や希望がこの花壇に集まっている、これこそ、名前「ゆめかだん」にふさわしい協力体制でした。平成26年度の富山県花のまちづくりコンクールに初めて応募して、何と「奨励賞」をいただきました。

今年の経験を生かし、来年度の「ゆめかだん」を考えたいと思っています。この賞がみんなの来年度への取組のエネルギーになることでしょう。



コンクールで見つけた素敵な花づくり

花と緑の銀行 普及研修部

平成26年度も県の花のまちづくりコンクールに、たくさんのすばらしい花壇が出品され、何度も驚かされました。普段見慣れた花でも、植栽方法や管理の仕方一つで、見る人をくぎづけにする、素敵な花づくりができます。特に印象に残った幾つかをご紹介します。

1. コキアを楽しむ！

コキアは春から夏にかけてどんどん成長し、ふんわりとした丸っこい緑の立体をつくってくれます。10月の寒さに遭うと、一変して、真っ赤に紅葉します。花壇づくりには無くてはならないカラーリーフの一つです。

このコキア、自由に整形できるって、知っていましたか？とにかく、小杉西部保育園のネコバスにはびっくり。耳の部分が細かくトリミングされ、背中も丸く切り揃えられ、本物そっくりの迫力ある猫が出迎えてくれました（写真1）。

マツボックリのできたトトロ、アサガオのトンネルの先でにらみをきかす、ネコバス。保育園に通うのが楽しくなる花づくりに出会いました（写真2）。



写真1
コキアを上手にトリミングしたネコバス
(射水市 小杉西部保育園)

写真2 マツボックリのトトロと
コキアのネコバス
(射水市 小杉西部保育園)

2. おしゃれな縁かざり！

四方小学校の「心を一つに友達花だん」の一角におしゃれな縁かざりを見つけました。ヘチマやゴーヤを使った涼しげな緑の棚の足元を、30cm程度の高さに咲き揃えたキバナコスモスで、柔らかく、落ち着いた彩りに仕上げられていました（写真3）。



写真3 キバナコスモスの縁飾り
(富山市立四方小学校)

3. プランターでつくる豪華な花のみち！

高岡市立野栄町にはコンテナと樽ポットを使った花のみちが作られていました。数個のプランターを立体的に組み合わせて、豪華な花壇風に仕上げられています。プランターの前面はダイコンドラやヘデラ(グランドカバープランツ)を上手に這わせて、綺麗にカバーされています。ちょっと見にはプランターとは気づきません。コリウスやジニア、ペンタスなど、彩り豊かで、暑さにも強い種類が選ばれており、猛暑を克服する工夫もいきとどいていました。

プランターの間には樽ポットの寄せ植えを配置したり、電柱をすだれで巻くなど、出穂を迎えたコシヒカリの田園地帯に上品で落ち着いた雰囲気の花空間が演出されていました（写真4）。冬には除雪のため、すべて片付けられるそうです。次の夏に生まれ変わる花のみちがとても楽しみです。



写真4 プランターとは気づかせない花のみち
(高岡市 立野栄町自治会花づくり会)

4. ミニフラワーパーク、完成！

射水市の歌の森運動公園西側花壇は県の花のまちづくりコンクールにおいて9年連続で5つ星を獲得する素晴らしい花壇です。県内外から多くの視察者が訪れ、沢山の感動を与えています。

この花壇が平成26年、さらに、バージョンアップしました。歩道部分に植えられていた花木が撤去され、土もすっかり入れ替えられて、素敵なミニフラワーパークに変身したのです。約2m四方のミニ花壇が12面。それぞれ表情の異なる寄せ植え風の花飾りが道行く人の目と心を楽しませてくれます。

年ごとに進化する歌の森運動公園西側花壇。今後どう変わって行くのか、一年に一度は行ってみたい、見てみたい、魅力的なフラワーパークです（写真5）。



写真5 ミニフラワーパーク、完成！
(射水市 歌の森運動公園西側花壇)

庭木に利用する樹種の特徴と管理 —サザンカー—

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正史

晩秋から冬にかけての花の少ない時期に花を咲かせる花木にサザンカ(図1)があります。童謡にも歌われ、親しまれています。今回はこの花木を紹介します。

1. 特徴

ツバキ科ツバキ属の常緑樹で、山口県、四国南部、九州地域のシイノキ林の中に生育し、花木の高さは7~8mに達します。日当たりの良い場所が適地ですが、野生種はシイノキの林の中で育っていることから日陰に植えても大丈夫です。しかし、なるべく明るい場所に植えるようにしてください。自生していない本県でも植栽可能で、花は11月上旬から翌年の1月中旬頃まで咲いており、一重で5、6枚のやや細長い白色の花弁をつけます(図2)。花弁はツバキと異なり、1枚ずつ散っていくのが特徴です。刈り込みに強いので、庭園や生垣等によく利用されます。

園芸品種は江戸時代の元禄から文化文政年間に熊本県など西日本を中心に盛んに作出されました。花は一重だけでなく、半八重や八重咲きなどがあり、花色も白や赤など様々です。

2. 維持管理

庭園や生垣として植栽したい場合は、肥沃な土壌で適度に水もちのよい場所を選んでください。そのような条件でない場所に植栽するとサザンカの成長は徐々に悪くなり、最悪の場合には枯れてしまうこともあります。必ず、土壤改良を実施してから植栽してください。幼苗を植栽した場合、数年の間は寒さに弱いので、防寒対策をとってください。防寒対策を行わずに冬越しをさせた場合、枝枯れを起こした事例がありました。

ツバキの仲間であるため、チャドクガの幼虫による葉の食害がよく発生します。この被害は食害だけでなく、人がこの虫に直接触ったり、虫がいなくても葉に残っている毒毛に触ったりするだけで、かぶれやかゆみ等の被害が発生します。幼虫は葉裏に集団でいますので、発見次第、葉ごと取り除いて、埋めるなり、踏みつぶすなりしてください。被害葉を取り除くことができない場合は、スミチオン乳剤の1000倍液、STゼンタリー顆粒水和剤(1000倍液)、GFオルトラン水和剤の1500

倍液を撒布してください。スプレー式の園芸用キンチョールEを噴霧する方法もあります。また、カイガラムシの被害とカイガラムシの分泌物に寄生するすす病の被害(葉や枝が黒っぽくなります)もよく発生します。これらに対応するためには、カイガラムシを対象にマツグリーン液剤2(250倍液)、アプロードフロアブル(1000倍液)を撒布してください。



図1 サザンカ(2014.11.19に撮影)



図2 サザンカの花(2014.11.19に撮影)

※写真は富山県中央植物園で撮影したものです。



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 富山支店

堀川南地方銀行 頭取 布村正昭

当地区に上堀駅を愛する会ができて、日頃から駅周辺の美化活動を行っており、駅前に花壇をつくるようになりました。地域のみなさんと花壇づくりを行っていましたが、なかなか納得のいくものにならなかったで、美しい花壇にしたいと思いステップアップ研修の受講を希望しました。

講師の先生方には、花壇における土づくりの基礎知識、花壇デザイン、植物の生態、草花の管理など、幅広くご指導していただきました。

班の実習花壇では、「心」と名付け、ハート形に花苗を植え込みました。前半のころは思うようにならず、特に夏場はベゴニアの花が暑さで大きなダメージを受けてしまいました。でも、花がら摘みや切り戻しなどの細やかな手入れを続けたおかげで、後半には元気になり花数が増えました。



写真1 第5班「心」花壇（7月25日）



写真2 花壇の手入れ風景（9月19日）

研修の一環として、安曇野にある「ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン」を訪れて花壇を見学したときは、手入れや花の配置のしかたにとっても感動しました。また、花壇づくりの仲間と富山県花のまちづくりコンクールで優秀な成績の花壇も2箇所見学に行きました。どの花壇も手入れが良くいきとどいていて花がとても美しく咲いていました。細かな手入れの大切さが良くわかり、また、花の配置の仕方とても勉強になり、これからの花壇づくりの良いヒントを得ることができました。



写真3 ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン研修（10月3日）

この研修で学んだことを地域で活かし、地域の皆さんと楽しみながら美しい花壇をつくりたいと思います。

最後になりましたが、職員の皆様にはいろいろお世話になりました。深く感謝申し上げます。



写真4 第5班「心」花壇（10月17日）

平成27年度ステップアップ研修の受講を希望される方は、各支店（市町村担当課）までお問い合わせ下さい。受講者の募集は3月上旬を予定しています。 ※研修内容は「花壇管理の基礎」を中心に実施します。



地域花壇との交流活動

花と緑の銀行 射水支店

下支所下地方銀行 頭取 **前田 光春**

現在、下支所では頭取を中心にグリーンキーパー7名計8名で活動をしています。7名のグリーンキーパーは、それぞれの居住地区にある花壇の管理指導にあたり活躍されています。さらに地区に所属しない花壇として富山県置県百年花壇と下村デイサービスセンター花壇があります。この二つの花壇をグリーンキーパー全員で協力して管理を担当することにしており、花壇の設計から植え付け、肥料管理、水やり、せん定、花がら摘み、除草など話し合いをしながら仲良く協力的に行っています。特に二つの花壇は、各自の居住地から離れた位置にあるため管理に来るのは大変ですが、自ら進んで好意的に取り組んでいただいております。

【下村小学校花壇との交流】

私達は、特に小学校花壇の栽培管理を通して生徒達との交流を大切にしています。小学校では、花壇のデザインを前年度に栽培委員会の生徒が全校

に募集して決めています。私達は、生徒からデザインについて相談があればアドバイスしています。特に花壇苗の植え付け時は、全校生徒の前で自己紹介を行い、和やかに楽しく取り組んでいます。私たちは、若い生徒達から元気ももらっている交流活動であり、大切にしています。

【花と緑の銀行下支所だよりの発行】

花と緑の銀行活動は、各家庭に花の栽培が拡大し、花づくりを楽しみ、心が和み、地域に潤いと彩りを豊かにし、心の付加価値をとという利息をつけることを本来のねらいとしております。このことから下支所では、毎月1日に発行される市広報とともに支所だよりを発行しています。内容はわかりやすいものとし、少しでも花づくりが上達し、楽しく取り組んでいただくため、緑色A4サイズ表裏印刷とし550軒余りの家庭に配布しています。これからもグリーンキーパーの和を大切に地域交流活動に取り組んでいきたいと思っております。



写真1：富山県置県百年花壇



写真2：下村デイサービスセンター花壇



写真3：下村小学校花壇

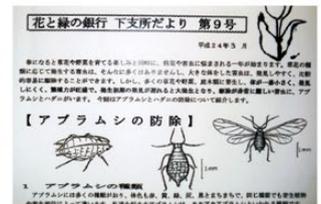


写真4：花と緑の銀行下支所だより

〈情報コーナー〉

「花とみどり・ふれあいフェア」を開催します！

2月28日～3月1日(10時～17時)にファボーレにおいて、『新幹線の春!』をキャッチフレーズに、平成26年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催します。

- 主な内容**
- 春を呼ぶ花々「チューリップ、スイセン、椿」の展示
 - 花と緑の体験コーナー（県産花きを活用した花束づくり、生け花、寄せ植えなどの体験）
 - コンテナガーデンコンテスト（庭先や玄関を花と緑で飾る提案）：2月21日(土)～3月1日(日)展示
 - 「わたしの寄せ植え」展（花と緑で素敵な空間を創造）：2月24日(火)～3月1日(日)展示
 - 花と緑のコンクール入賞作品展示（入賞ポスター、標語、花壇写真など）：2月21日(土)～3月1日(日)展示
 - 花のタネ・根の無料貸し出し（県内各地から提供されたタネ・根の提供）

など、盛りだくさんの企画を準備しています。多数のご来場をお待ちしています。



平成25年度 寄せ植え教室風景



平成25年度 コンテナガーデンコンテスト



平成25年度 花のタネ・根の無料貸し出し風景

表紙写真：撮影場所 舟川べり（朝日町）

裏表紙写真：「枝先の羊【オニグルミの冬芽と葉痕】3月中旬 南砺市梨谷にて」… 写真提供 長谷川 幹夫 氏





「枝先の羊【オニグルミの冬芽と葉痕】3月中旬 南砺市梨谷にて」



花と緑の銀行だより 194号

発行日 平成27年1月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>